

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3662507号
(P3662507)

(45) 発行日 平成17年6月22日(2005.6.22)

(24) 登録日 平成17年4月1日(2005.4.1)

(51) Int.Cl.⁷

B 6 1 B 11/00

F I

B 6 1 B 11/00

B

請求項の数 6 (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願2001-85220 (P2001-85220)	(73) 特許権者	500579431
(22) 出願日	平成13年3月23日 (2001.3.23)		インノヴァ・パテント・ゲゼルシャフト・
(65) 公開番号	特開2001-310731 (P2001-310731A)		ミット・ベシュレンクテル・ハフツング
(43) 公開日	平成13年11月6日 (2001.11.6)		オーストリア共和国 アー・6960ヴォ
審査請求日	平成14年12月16日 (2002.12.16)		ルフルト リケンバヒャーシュトラーセ
(31) 優先権主張番号	A720/2000		8-10
(32) 優先日	平成12年4月25日 (2000.4.25)	(74) 代理人	100105647
(33) 優先権主張国	オーストリア (AT)		弁理士 小栗 昌平
		(74) 代理人	100105474
			弁理士 本多 弘徳
		(74) 代理人	100108589
			弁理士 市川 利光
		(74) 代理人	100115107
			弁理士 高松 猛

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 索道装置用椅子

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

座席面（2）がそれに固定される積み荷支持枠組み（1）と、その頂部端に支持牽引ケーブル（30）に連結するための締め付け装置（31）および走行ローラ（32）を備えている積み荷支持バー（3）と、その2つの横方向端に配置される側部材（21）と、閉止バー（5）および被覆フード（4）の少なくとも一方とを有し、これら閉止バーや被覆フードが椅子の作動位置において少なくともほぼ水平に整列されるスピンドル（11, 11a）のまわりに枢動されることができ、前記閉止バー（5）および前記被覆フード（4）の少なくとも一方が開放位置から閉止位置へ少なくとも1つの調整ばね（6）の作用に抗して枢動されることができる、索道装置用椅子において、前記側部材（21）の少なくとも1つが少なくとも1つの調整ばねがその中に配置されるキャビティ（22）を備え、前記調整ばねが、一方で、前記積み荷支持枠組み（1）に、かつ他方で、前記閉止バー（5）および前記被覆フード（4）の少なくとも一方に接続されていることを特徴とする索道装置用椅子。

【請求項 2】

前記調整ばねが引っ張りばね（6）として設計されていることを特徴とする請求項 1 に記載の索道装置用椅子。

【請求項 3】

前記被覆フード（4）が、前記調整ばね（6）の端部の1つがそれに接続される支持フレーム（41）を備えていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の索道装置用椅子

10

20

。

【請求項 4】

前記支持フレーム（４１）および前記閉止バー（５）の少なくとも一方が延長部（４５，５５）を備え、この延長部によって前記被覆フード（４）または前記閉止バー（５）がほぼ水平に整列されたスピンドル（１１，１１ａ）上に取り付けられかつ前記延長部に前記引っ張りばね（６）の一端が接続されることを特徴とする請求項 3 に記載の索道装置用椅子。

【請求項 5】

連結要素（６３，６３ａ）が前記調整ばね（６）と前記支持フレーム（４１）および前記閉止バー（５）の少なくとも一方との間に設けられることを特徴とする請求項 3 または 4 に記載の索道装置用椅子。

【請求項 6】

前記キャビティ（２２）が、前記側部材（２１）の外側に取り外し可能な被覆（２３）を設けて構成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の索道装置用椅子。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、座席面がそれに固定される積み荷支持枠組みと、その頂部端に支持牽引ケーブルに連結するための締め付け装置および走行ローラを備えている積み荷支持バーと、その 2 つの横方向端に配置される側部材と、閉止バーおよび被覆フードの少なくとも一方とを有し、これら閉止バーや被覆フードが椅子の作動位置において少なくともほぼ水平に整列されるスピンドルのまわりに枢動されることができ、前記閉止バーおよび／または前記被覆フードが開放位置から閉止位置へ少なくとも 1 つの調整ばねの作用に抗して枢動されることができる、索道装置用椅子に関する。

【０００２】

索道装置（ケーブルリフト）用の公知の椅子は積み荷支持バーを備えた積み荷支持枠組み（荷重支持構造）を有しており、積み荷支持バーの頂部端に、ステーションに椅子を動かすために、椅子を支持牽引ケーブルおよび走行ローラに連結するための締め付け装置が設けられている。また、積み荷支持枠組みに配置されるのは、2 つの横方向端部の側パネルの間に割り当てられる座席面である。積み荷支持枠組みに追加的に取り付けられるのは開放位置から閉止位置に枢動されることができかつ椅子の作動位置において少なくともほぼ水平であるスピンドルのまわりに枢動され得る閉止バーである。また、積み荷支持枠組み上に、被覆フードが設けられ、この被覆フードも同様に、開放位置からこれが座席面を取り囲む閉止位置への椅子の作動位置において少なくともほぼ水平である。

【０００３】

また、閉止バー、および適切ならば設けられる被覆フードに、前記バーおよび被覆フードの、それらの開放位置からそれらの閉止位置へかつ閉止位置から開放位置への枢動を助ける調整ばねが割り当てられることも知られており、その結果閉止バーおよび／または被覆フードの手動操作の枢動が椅子の使用者のためにより容易になされる。

【０００４】

【発明が解決しようとする課題】

索道装置用の公知の椅子の場合において、調整ばねは椅子の外側に露出された方法において配置されている。しかしながら、これは、調整ばねが天候の作用に曝され、加えて、調整ばねによって乗客に対する怪我を妨げることができるような方策が取られねばならず、そして一方が他方の後ろに配置される椅子に対する損傷を妨げることが可能にするために、椅子が係合されるとき方策がとられねばならないという欠点を伴っている。

【０００５】

本発明の目的は、したがって、従来技術が調整ばねの配置によって露呈している欠点を回避することにある。

10

20

30

40

50

【0006】

【課題を解決するための手段】

これは、本発明によれば、側パネル等の少なくとも1つが少なくとも1つの調整ばねがその中に配置されるキャビティを備え、前記調整ばねが、一方で、前記積み荷支持枠組みに、かつ他方で、閉止バーおよび／または被覆フードに接続されていることによって達成される。

【0007】

調整ばねは、好ましくは、引っ張りばねとして設計されている。加えて、被覆フードは前記調整ばねの2つの端部の1つがそれに接続される支持フレームを備えている。追加的に好適な例示の実施例によれば、被覆フードの前記支持フレームおよび／または閉止バーが延長部を備え、この延長部によって前記被覆フードまたは前記閉止バーがほぼ水平に整列されたスピンドル（ジャーナル）上に取り付けられかつ前記延長部に前記引っ張りばねのそれぞれ一端が接続される。

10

【0008】

好ましくは、また、連結要素が調整ばねと支持フレームとの間に設けられる。加えて、キャビティは、好ましくは、パネル等の外側に取り外し可能な被覆を備えている。

【0009】

本発明の要旨は図面に示される2つの例示の実施例を参照して以下でより詳細に説明される。

【0010】

20

【実施の実施の形態】

図1に示される索道装置用椅子は8個の座席面2用の積み荷支持枠組み1を有している。積み荷支持枠組み1から上方に突出しているのは、積み荷支持バー3であり、この積み荷支持バーの頂部端には、椅子が支持牽引ケーブル30に連結され得る締め付け装置31が設けられている。また、走行ギヤ機構32が設けられ、椅子はこの走行ギヤ機構によってレールに沿って、そこで支持牽引ケーブル30から連結解除されるステーションに動かされ得る。

【0011】

椅子は、また、座席面2を取り囲んでいる閉止位置から開放位置へ、少なくともほぼ水平のスピンドルのまわりに枢動され得る被覆フード4を備えている。椅子は、追加的に、閉止バー5を備えており、この閉止バーは、同様に、その開放位置からその作動位置へ、ほぼ水平なスピンドルのまわりに枢動されることができる。閉止バー5は、座席面2の数に対応している多数の足載せ台51を備えている。

30

【0012】

被覆フード4はボーデンケーブル42によって被覆フード4の枢動を制御することができる調整装置40が割り当てられている。減衰装置10が積み荷支持枠組み1と積み荷支持バー3との間に設けられる。

【0013】

索道装置のステーションにおいて、被覆フード4および閉止バー5はそれらの開放位置に枢動され、その結果として乗客は座席面2に座るかまたはそれを去ることができる。閉止バー5は、次いで、その作動位置に枢動される。被覆フード4は調整装置40によって自動的にまたは乗客によって手動で閉止位置に枢動されることができる。

40

【0014】

図2から見るように、被覆フード4は、このフード4が固定されるフレーム41を備え、透明な材料から製造されかつ凸状屈曲のデザインを有している。被覆フード4は、その前面側に、フード4がこのフードに並んで配置された椅子によって損傷されるのを阻止する複数のバッファ要素43を備えている。

【0015】

また、図2から見るように、フレーム41は2つの延長部45を備えており、この延長部によって被覆フード4が積み荷支持枠組み1の支持スピンドル（ジャーナル

50

） 11 に枢動可能に取り付けられ、その結果被覆フードは座席面 2 を取り囲む閉止位置から開放位置へ枢動され得る。被覆フード 4 は複数のストラップ 44 を備え、乗客はそれらを開放位置から閉止位置へ被覆フード 4 を枢動するために握ることができる。この枢動を助けるおよび／または容易にするために、凹所（キャビティ） 22 が座席面 2 の両側に配置された側パネル 21 に設けられ、前記凹所 21 は被覆フード 4 に接続されかつそれと相互に作用する調整ばね 6 を収容している。

【0016】

図 3 から見られ得るように、積み荷支持枠組み 1 の 2 つの横方向端部は屈曲したブラケット 15 として設計され、この屈曲したブラケットの自由前方端には、凹所 22 に突出し、引っ張りばね 6 の第 1 端 61 が固定されるブラケット 12 が固定される。引っ張りばね 6 の第 2 端に接続されるのは、支持フレーム 41 に設けられた延長部 45 に固定される要素 63 であり、連結要素が延長部 45 に配置されたレール 64 に案内される。

10

【0017】

図 3 において、被覆フード 4 はその閉止位置において示されている。図 4 においては、それに反して、被覆フード 4 はその開放位置において示されている。閉止位置から開放位置への被覆フード 4 の枢動は 2 枚の側パネル 21 に配置された引っ張りばね 6 によって支援される。

【0018】

図 5 から見るように、第 2 実施例において、ほぼ水平のジャーナル 11a のまわりに枢動され得るように取り付けられる、閉止バー 5 は形状 55 を備え、これに、引っ張りばね 6 に接続される連結ロッド 63a が接続される。引っ張りばね 6 は閉止位置から開放位置への閉止バー 5 の枢動を支援する。

20

【0019】

図 5 において、閉止バー 5 はその閉止位置において示されており、そして図 6 においては、閉止バー 5 はその開放位置において示されている。

【0020】

この実施例においてもまた、引っ張りばね 6 は凹所 22 に配置され、前記凹所 22 は、同様に、取り外し可能な被覆 23 によって接近可能になっている。

【0021】

また、図 6a がら見るように、側（横方向）パネル 21 が屈曲したブラケット 15 の上方に配置されている。側パネル 21 は凹所 22 を含んでおり、その中に引っ張りばね 6 が配置されている。加えて、凹所 22 は、それらの外側に、解放可能な方法において固定される被覆 23 が割り当てられる。前記被覆 23 がいったん取り外されると、引っ張りばね 6 は保守および／または取り替えのために接近可能である。好ましくはプラスチック材料から製造される側パネル 21 は、金属から製造された補強材 24 を備えている。

30

【0022】

追加的に指摘されることは、椅子が枢動可能な閉止バーかつまた枢動可能な被覆フードを備えることができるということであり、その場合に閉止バーまたは被覆フードのいずれかが、または閉止バーおよび被覆フードの両方がその枢動運動を支援するために少なくとも 1 つの引っ張りばねを割り当てられる。本発明に重要なことは、少なくとも 1 つの調整ばねが椅子の一方または両方の側パネルに配置されるキャビティに配置され、その結果として調整ばねの配置によって発生される公知の椅子の欠点が回避される。

40

【0023】

【発明の効果】

叙上のごとく、本発明によれば、座席面がそれに固定される積み荷支持枠組みと、その頂部端に支持および牽引ケーブルに連結するための締め付け装置および走行ローラを備えている積み荷支持バーと、その 2 枚の横方向端に配置される側部材等と、閉止バーと、かつ適切ならば、被覆フードを有し、これらの閉止バーと被覆フードが椅子の作動位置において少なくともほぼ水平に一直線に整列されるスピンドルのまわりに枢動されることができ

50

、前記閉止バーおよび／または前記被覆フードが開放位置から閉止位置へ少なくとも１つの調整ばねの作用に抗して枢動されることができる、索道装置用椅子において、前記側パネル等の少なくとも１つが少なくとも１つの調整ばねがその中に配置されるキャビティを備え、前記調整ばねが、一方で、前記積み荷支持枠組みにかつ他方で、前記閉止バーおよび／または前記被覆フードに接続されている構成としたので、従来の装置が調整ばねの配置によって露出されるという欠点を回避することができる索道装置用椅子を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明による椅子の第１の例示実施例を示す正面図である。

【図２】図１より大きい尺度で、図１による椅子を示す側面図である。

10

【図３】閉止位置に置かれた被覆フードを有している、図２より大きい尺度で、図２による椅子を示している側面図である。

【図４】開放位置に置かれた被覆フードを備えている、図３による椅子を示している側面図である。

【図５】閉止位置に置かれた閉止バーを有している本発明による椅子の第２の例示実施例を示している側面図である。

【図６】開放位置に置かれた閉止バーを備えている、図５による椅子を示す側面図である。

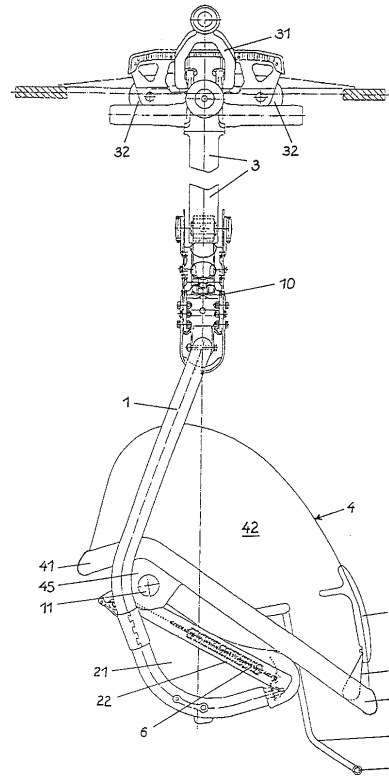
【符号の説明】

- １ 積み荷支持枠組み（荷重支持構造）
- ２ 座席面
- ３ 積み荷支持バー
- ４ 被覆フード
- ５ 閉止バー
- ６ 調整ばね（引っ張りばね）
- １１ 支持スピンドル（ジャーナル）
- １１a 支持スピンドル（ジャーナル）
- ２１ 側パネル（側部材）
- ２２ 凹所（キャビティ）
- ２３ 取り外し可能な被覆
- ３０ 支持牽引ケーブル
- ３１ 締め付け装置
- ３２ 走行ローラ
- ４１ 支持フレーム
- ４５ 延長部
- ５５ 延長部
- ６３ 連結要素
- ６３a 連結要素

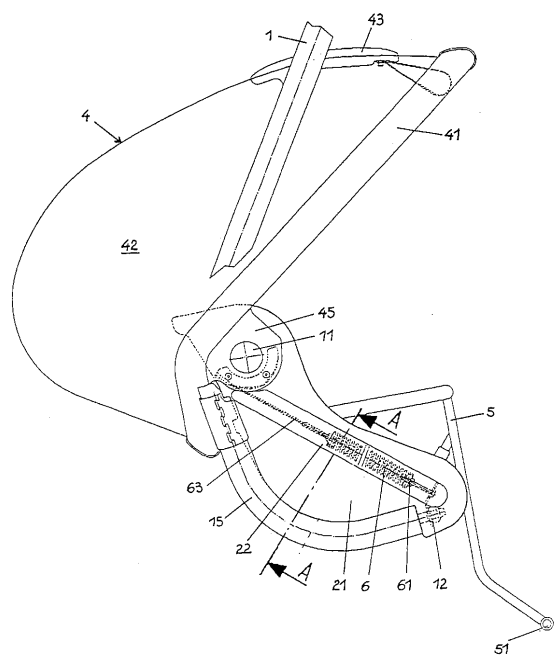
20

30

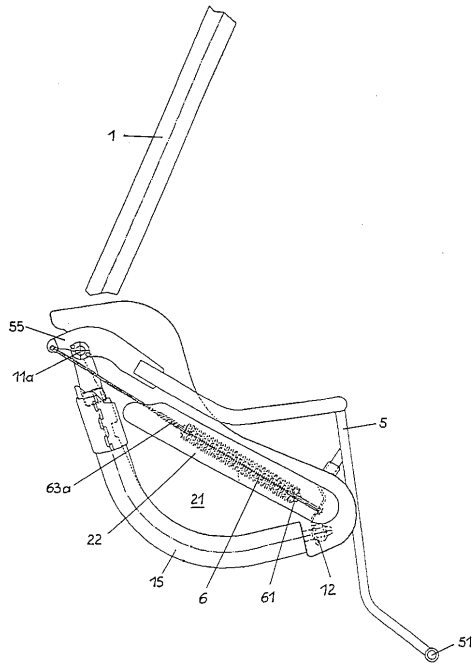
【图 2】



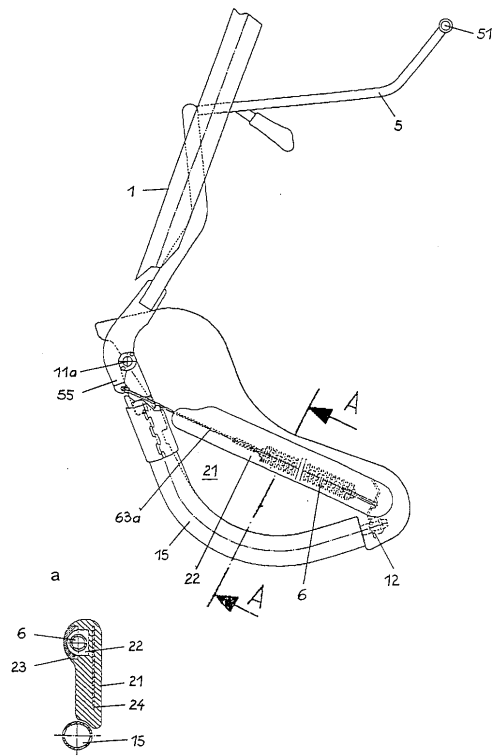
【 図 4 】



【図 5】



【図 6】



フロントページの続き

(74)代理人 100090343

弁理士 濱田 百合子

(72)発明者 エステレ・マンフレート

オーストリア共和国, アー 6 9 3 4 ズルツベルク, パートハース 3 6 2

審査官 山内 康明

(56)参考文献 実開昭 6 3-0 8 5 4 6 3 (J P, U)

特開昭 4 7-0 0 2 3 6 3 (J P, A)

米国特許第 0 3 5 5 6 0 1 4 (U S, A)

米国特許第 0 4 6 3 0 5 4 5 (U S, A)

米国特許第 0 4 7 8 4 0 6 5 (U S, A)

(58)調査した分野(Int.Cl.⁷, D B名)

B61B 11/00